

ガニコ親父の

松次郎の歯をズキッと嫌な感覚の痛みが走った。これまで、虫歯とは縁がなかっただけに、その新しい痛覚は、得体の知れない恐ろしさを松次郎に感じさせた。同時に小学校時代の同級生の顔が思い浮かんだ。その同級生は近所の歯医者の子だった。

遠足の時、おにぎりだけの弁当だった松次郎は、豪華な厚焼き卵の入った医者の息子の弁当箱を見てうらやましくなった。その生徒は「よかったですこれ食べない」と松次郎に卵焼きを差し出した。しかし、憧れの厚焼き卵の先にニヤニヤしている顔が見えた、よつな気がした。すぐに、かっつと熱いものが幼い松次郎を支配し、差し出された「夢の厚焼き卵」を拒否してしまったのだ。

奄美黒糖焼酎

そのまま家業を継いで歯医者になった。というその同級生とは、卵焼きの出来事以来、近所なのに交流も乏しかった。そんな事情はさておき、現実問題として松次郎には虫歯問題が降りかかっていたのだ。その夜、松次郎は恐ろしい夢を見た。「何故もっと早く来なかつたんだ。仕方がないが全部抜歯だ」とその医者は鬼の形相で、見たこともない大きなペンチを持って松次郎の歯を抜こうとした。その瞬間、松次郎は恐怖心で目覚めてしまった。虫の知らせかもしれないと思った松次郎は、すぐに貴代にその歯科医院の予約を取ってもらった。

同級生だった男に歯を治療してもらったのは何か変な気がした。「鉄人松次郎の歯も、ついに痛むようになったか」と言いながら歯医者はニヤニヤした。松次郎の頭にあの時のニヤニヤ顔が蘇ってきた。しかし、ムツとしても口を押し広げられた松次郎には、治療を拒否する体勢が取れなかった。しかし、こいつは俺の不幸を楽しんでいるのではと思った途端、頭に血が上り、思わず口を閉じてしまった。歯医者の指をがぶりと噛んでしまったのだ。

常圧蒸留

昔ながらの手造り こだわり焼酎

喜界島の肥沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokoroのある味と香りです。

「俺も永年歯医者をやっていて、初めて噛まれたよ。お前も相変わらずだな」と元同級生はいった。

まあ、俺のジョークが悪かったのなら謝ると、またニヤニヤ顔で続けた。「そのにやけた顔は、どうにかならんのか」と松次郎は語気を強めた。

「ああ、これか。これは癖だから治らんのだよ、誤解されそうだけど。ただ、俺は人が喜ぶ顔が見たいだけだ。昔からそうだ」。それを聞いた松次郎は神妙な顔をして考え込んだ。いずれにしてもこの男は松次郎のために何かをしてくれているのだ。ニヤつとしながらも最善を尽くそうとしているのだ。松次郎は昔の厚焼き卵の話を持ち出して、勘違いを詫言した。

なんと虫歯が五十数年ぶりのわだかまりを解ききつかけになったのだ。思うに、この同級生はもう半世紀以上もニヤニヤしていることになる。俺に劣らず相当頑固な奴だと松次郎は苦笑した。

さあ、誤解が解けた記念に早く帰って『しまっちゅ伝蔵』で乾杯だ。松次郎は詰め物をした奥歯を舌で確認しながら、治療費を払った。

25度
好評発売中



喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連2966番地12
TEL 0997(65)0251



900ml (25度)



1800ml (25度)



1800ml (25度)



the most beautiful villages in japan
喜界町
鹿児島県

虫歯に乾杯!!

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。